

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき
高梁川流域の
し て い ぶん か ざい し せき
指定文化財(史跡)

★ 場所
・笠岡市甲弩

★ 時代
・鎌倉時代

★ 指定年月日
・史跡：

昭和35(1960)年
12月26日

建造物：
平成13(2001)年
3月23日

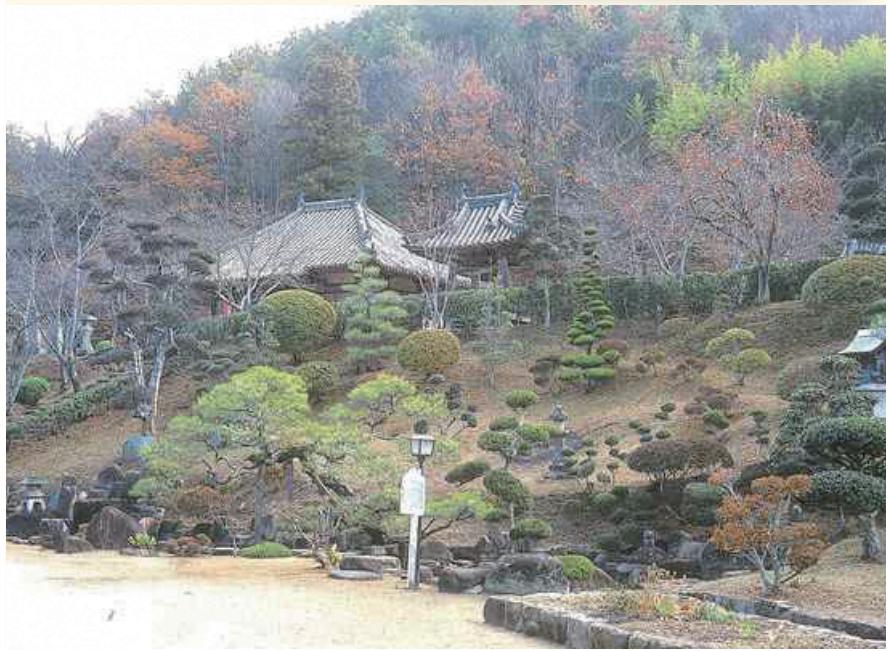
★ 所有
・神護寺



ながおかさんじんごじ 長尾山神護寺

新高総早倉矢井浅里
見梁社島敷掛原口庄
市市市町市市市町

笠
岡
市



この史跡について

来迎院神護寺は、真言宗大覚寺派に属し、行基菩薩が開いたと伝えられています。もとは「神宮寺」と呼ばれていました。神宮寺は、大坊・中坊・般若坊・正円坊・長福坊・上学坊の六つの坊をもつ大きな寺院でした。長尾山には大坊だけが残り、今日の神護寺となりました。

現在、神護寺の境内は庭園として美しく整えられています。また、本堂は永禄11(1568)年に小田高清によって再建された笠岡市内で最も古い木造建築物で、岡山県重要文化財に指定されています。